

インプラント歯科



昭和医科大学
SHOWA Medical University

専門診療部門 インプラント歯科

診療科長： 宗像源博
診療科長補佐： 佐藤大輔
医局員： 山口菊江
酒井隆太郎
石井康太
阿部誉
矢木鴻太郎
山下晃平
氷見開哉
佐野浩之

出身大学： 医科歯科大、昭和大、
神奈川歯科大、日本大、松本歯科大

2025年度 前期研修医4名

出身大学： 昭和大、日大松戸
明海大、日本大学歯学部
鶴見大学

2025年度 後期研修医4名

大学院： 7名



診療科長



専門診療部門 インプラント歯科

当科では、前処置も含めて全顎的な治療介入を行う。

インプラント外来：50～90人/日

インプラント手術：1～4症例/日

研修医は、指導医の診療・手術介助を主に行う。

【研修の内容】

外来：診療介助

医療面接→診断（ワックスアップ，シミュレーション）

→手術説明，カンファレンス資料作成

2次手術

オープントレー製作

診療実施

一般治療（根管治療・Cr-Br、義歯）

インプラント印象採得，咬合採得，上部構造装着

手術室：手術器具出し

インプラント治療は、外科部分と補綴部分を分けることは出来ません。インプラント歯科では、前処置、外科、補綴、メンテナンスまで全てを行っています。そのため、一般歯科～歯周病、口腔外科、補綴まで勉強することが多いです。

～当科で行っているアドバンスなインプラント治療～

- 抜歯即時インプラント埋入
- GBR
- 上顎洞底挙上術
- IOD
- All on four
- 遊離歯肉移植術
- 結合組織移植術
- リカバリー（インプラント周囲炎）

all on four

症例①



術前



術後6か月

症例②



術前



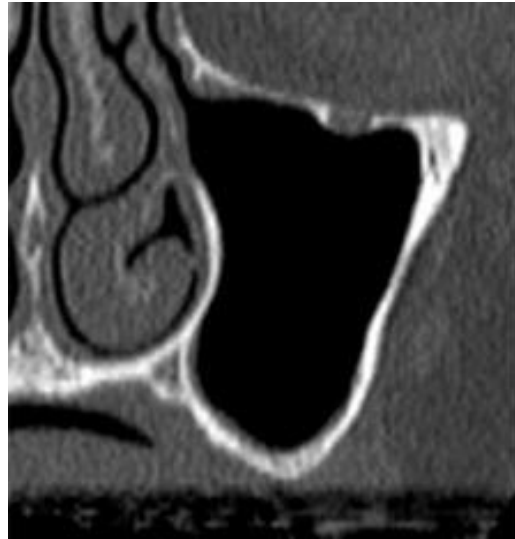
術後1週



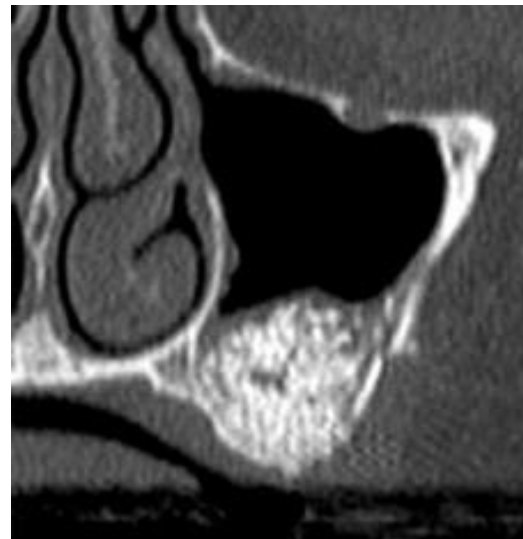
最終上部構造装着

診療の特色

上顎洞底挙上術



術前



術後6か月

GBR



術前



術中



術後3か月

過去の研修医と入局医局員

2019年度前期研修医

2020年4月入局：阿部 誉（昭和大学出身・助教・入局6年目）

有意義な人生を送るために！

研修でインプラント歯科と昭和大学北部病院の口腔外科に行きました。元々、研修終了後は開業医に行く予定で、その前に少し専門的な分野に触れておこうという軽い気持ちで選びました。

国家試験にインプラントの問題があまり出ないこともあり、勉強をしてこなかったもので、日々新鮮なことばかりでした。手術にも器具出しとしてたくさん手術に参加させてもらえたので、埋入手術の手順、使用する器具は半年間という短い間でも分かるようになりました。また、外科的な手技はさせてもらえませんでしたでしたが、補綴的な手技はやらせてもらうことができたので、半年前の自分に比べたら非常に成長することができました。

研修が終わり開業医に行き一般治療だけするのは、いつか退屈になる、何か自分が好きな分野、専門的な分野をもつ歯科医師になる方が、この先有意義な人生を送れると思いインプラント科に入局することを決意しました。



過去の研修医と入局医局員

2020年4月大学院進学

2025年4月助教：山下晃平（昭和大学出身・入局6年目）

自分の強みに！



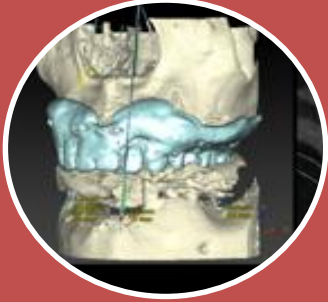
『専門性が高い分野こそ若いうちに学んで自分の強みとして伸ばした方が良い』と先輩からアドバイスを受け、研修医終了後に大学院生としてインプラント歯科に入局しました。

研修医後期までは、インプラントは一般治療ができてからのアドバンスコースだと勝手なイメージを持っていました。他科で研修医時代を過ごしたので、同期とは差がついてしまい、入局当初、少し後悔をしましたが、今は、早く追いついて追い越して、インプラント治療を自分の診療の武器の一つにしようと考えます。

少しでもインプラントに興味のある方は、とにかく症例数が多いので、研修医の時からインプラント歯科にきていただき、診断から治療計画の立案、外科的手技、インプラント治療の一連の流れをしっかりと学ぶことがオススメです。

是非とも第一歩をインプラント歯科で踏み出してください。

研修終了後は・・・



- ・学会加入：口腔インプラント学会・顎顔面インプラント学会
- ・教育：放射線科研修（3M）画像を含めた診査診断・インプラント治療とインプラント補綴の特徴・マテリアル
- ・臨床実地：コンサルテーション・補綴治療の介助と実施・埋入手術の介助
- ・患者担当（1歯欠損）



- ・教育：麻酔科研修（3M）歯周病科研修（3M）・シミュレーション診断・インプラント周囲炎、審美治療、全身疾患の把握
- ・学会発表（臨床研究）
- ・臨床実地：少数歯欠損患者の埋入手術～メンテナンスまでのインプラント治療の習得



- ・教育：補綴科・高齢者歯科研修（6M）・IOD, CAD/CAM
- ・ケースプレゼンテーション発表
- ・学会発表（臨床研究）
- ・臨床実地：6歯以上の多数歯欠損患者のインプラント治療の実施

認証医取得



- ・教育：口腔外科研修（3M），サイナスリフト，顎骨再建インプラント，即時荷重，学位論文作成
- ・臨床実地：無歯顎，骨移植，サイナスリフト症例，インプラント周囲炎

学位取得



- ・臨床実地：医学部病院研修（豊洲・北部・藤が丘等）

専門医取得

昭和医科大学症型分類法に基づいた患者担当